

平成二十七年 新春号



# 岐阜県本部だより

japanese government approved non-profit-organization(npo) japan karate syotorenmei HP : <http://www.fsinet.or.jp/~jks-gifu/>

発行：NPO法人日本空手松涛連盟岐阜県本部

発行責任者：岐阜県本部広報部 吉村健一

岐阜県岐阜市森東96番地 tel(058)-229-6066

岐阜県瑞穂市別府 1214 tel/fax(058)326-5512



## 初夢に 世界チャンプの 僕の顔 長剛

夢を見る時、夢を描く時、我々は瞼を閉じる。夢というものは目を閉じた方が輪郭がはっきりする様に思う。これからたどるべき道、これから叶えるであろう出来事、そういった遠い未来、近い未来を我々は、そっと目を閉じ心の目で見る。瞼の裏に広がる夢。きっと「私」という存在も、両親の夢の賜物であり、具現化した夢の形である。夢は親から子へ、子から子へ、形を変え色を変え続いていく。

空手道のオリンピック正式種目認可に向けて、少しずつ明るい日が差し始めてきた。メディアでもとりあげられる機会が多くなり、空手道に対する関心も深まりつつある。日本中の、いや世界中の空手愛好者の夢が、そろそろ現実のものとなりそうな予感。都会の喧騒から遠く離れた、小さな町の路地裏の道場に通う幼い子にも、世界チャンプは夢の話では無い。異国の地では、「まさかこんなところに」と思うような場所にも空手道場の看板が見られる。南国の風を受けて、北国の風を受けて、世界各地で世界チャンプを夢見る子どもたちが、同じ一日を過ごしている。

子どもの夢は際限を知らない。知識や経験が少ないうちからこそ宇宙規模の大きな夢を抱く。対して大人は残された人生の時間から、可能性というフィルターを通して夢を見がちである。文明の進化から、夢のキャパシティが今までよりも広く、長く、大きく、遠くなり、ひょっとしたら届かないのかもしれない。弱気は「不可能」を夢にしよう。

諦めない。瞼を閉じて見えるのが今はゴールではなく、ゴールへと続く道だけだとしても。

諦めない。夢は続くものだから。



# 全国各地で活躍する岐阜県選手(高校生編①)

今回は県外に進学した岐阜県選手にスポットをあててみたい。まずは全日本少年少女空手道選手権大会(全少)、全国中学生空手道選手権大会(全中)、全国中学生空手道選抜大会(はまなす杯)という小中学生最高峰ともいえる大会をご存じだろうか。各都道府県予選を勝ち抜いた各学年の上位入賞者のみが集う小中学生版の国体ともいえる試合である。これらの大会でも、我ら松涛連盟の選手が活躍し、岐阜県本部在籍の選手も入賞を手に行っている。それらの会場に集まるのは、選手、保護者、指導者だけではない。強豪校といわれる空手道部を有する高校の監督、コーチ陣もスコアボード片手に選手獲得に奔走する。会場のあちらこちらで名刺だけでなく、熱い思いも交換する姿が見受けられる。受け入れる高校空手道部の対応も様々で、全寮制であったり、入学金や授業料免除であったりと魅力ある条件提示が選手だけでなく、保護者の心をも動かす。結果昨年度は、岐阜県空手道連盟から11名(内、6名が松涛)が県外の高校空手道部に進学した。彼ら彼女らが入学して早や8カ月がたち、聞こえてくる戦績は目覚ましいものである。



## 吉村 涼句 (よしむら すずく)

- ・松涛連盟 岐阜県本巣支部出身
- ・京都府在住 華頂女子高校 空手道部1年
- ・現 JAPAN Jr.ナショナルチーム(組手)所属
- ・2014 アジア空手道選手権大会 日本代表  
マレーシア クアラルンプールにて
- ・2014 長崎国体出場(京都府代表)
- ・2015 桃太郎杯全国高校空手道大会 組手3位

(本人談)今年は念願のナショナルチームとして、日の丸をつける重さを感じました。8カ月が経ち一人暮らしにも慣れ、見知らぬ土地での戸惑いや不安も消え去りました。着実に進化を感じられ、早く明日にならないかと毎日がとても楽しみです。選抜、インハイ、国体で結果を残し、アジア大会、リベンジ、世界を目指します。



## 萩原 啓斗 (はぎわら けいと)

- ・松涛連盟 岐阜県岐中支部出身
- ・静岡県在住 御殿場西高校 空手道部1年
- ・2014 東海地区高校空手道選抜大会  
個人形の部3位 団体形の部優勝
- ・2014 静岡県高校新人大会空手道競技  
個人形の部2位 団体形の部優勝

(本人談)まずは、選抜に向け団体形で昨年の準優勝から優勝を狙います。流派の形ではありませんが、道場で養った技術を、耐えに耐えた部での練習成果を精一杯の演武で挑みます。そして個人では惜しくも選抜出場を果たせなかったため次のインターハイ出場に向けて頑張ります。

きっと親元を離れ、寂しさや孤独という部分を隠し隠しの日々の努力であっただろうに。また、不安と期待入り混じる保護者の思いも複雑で、かかってくる電話1本の言葉の一つ一つを噛みしめるようだ。ある保護者は語る。『高校の3年間という子どもの人生にとって大事な時期に、一緒にいれば支えたり、伝えたり、教えたり、叱ったり、励ましたりできたろうに。改めて電話のありがたみと、言葉の重みを感じました。』と。

きっとこの若者たちのこれからの活躍は、岐阜県の小さな子どもたちの憧れとなり、夢を与えてくれるに違いない。我々空手道に携わる者は大人として、こうして県内県外に関わらず空手道を人生の一つの拠り所としてとして歩む若者たちを応援するのは当然のこと、いつか岐阜という地に帰ってきた時に、いつか社会に旅立った時、どうやってその若者たちに魅力ある場、活躍できるステージを与えられるかが大切であり、大人としての技量を発揮する場と考える。

時代の最先端で、身も心も限界に挑戦する日々を置き、全身でもがき苦しみ、夢を追うこの若者たちに、同郷の者として、空手道にたずさわる者として、夢を託してみたいと思う。

※紙面の都合上、今回は2名の選手を紹介いたしました。今後も全国各地で活躍する岐阜県選手の(高校生編②、大学生編)もご紹介していきたいと思ひます。自薦他薦問わず、皆様からの情報提供をお願いいたします。

## 省略アルファベット表記

オリンピック認可に向けた諸団体の活動が活発になり、近年団体名をアルファベットで省略して表記するケースが多くなってきましたので、皆様に関係の深いと思われるものをまとめました。

JKF・・・全日本空手道連盟 (Japan Karatedo Federation)

JKS・・・日本空手松涛連盟 (Japan Karate Syoto Federation)

AJKS・・・全日本空手道松涛館 (All Japan Karatedo Shotokan)

WKF・・・世界空手道連盟 (World Karate Federation)

JJKF・・・全日本中学校空手道連盟

JOC・・・日本オリンピック委員会

IOC・・・国際オリンピック委員会

JASA・・・日本体育協会

必要に応じてご活用ください。

平成27年1月24日 岐阜県本部は新たな1年に向けて動き始めます。様々なニュースが飛び交い、世界情勢は大きな問題も抱えております。しかしそういった中で、今日も空手衣に袖を通し、一心不乱に突き、蹴る子どもたちの眼差しに幸せを感じながら、『拳は開けば手を取りあうことも出来るのだ』と教えていきたいと思ひます。皆様のご多幸と益々のご発展を祈念申し上げます。押忍